

私立大学図書館協会西地区部会東海地区協議会  
2001年度 第1回相互協力委員会議事録

日時：2001年6月8日（金） 午後1時～午後4時30分

場所：金城学院大学図書館

出席者：長坂功（愛知大学） 足立祐輔（愛知学院大学） 中上恵子（愛知みずほ大学）  
酒井麻里（金城学院大学） 浜野五鈴（鈴鹿医療科学大学） 小川光男（中京大学）  
蓑島智子（中部大学） 疋田幸世（中部学院大学） 加藤富美（南山大学）  
石川宗臣（日本福祉大学） 加藤直美（愛知工業大学）

計11名

記録：加藤直美（愛知工業大学）

【報告事項】

1. 2001年度相互協力委員会予算（案）について

- ・ 本年5月25日開催の私立大学図書館協会西地区部会東海地区協議会総会（以下、総会）において承認された2001年度相互協力委員会予算について、委員長より資料に基づき説明があった。
- ・ 相互協力情報交換会開催経費について質問があり、前例では参加費を徴収せず委員会予算内で運営されたとの回答があった。

【協議事項】

1. 相互協力委員会運営上の担当について

記録：委員当番制

会計：長坂委員長

2. 2001年度相互協力委員会開催日程について

開催日程・会場について検討し、下記の通り決定した。なお、未定の回については次回委員会以降に再度検討することとした。また、情報化・相互協力合同委員会を年3回予定しており、第1回の合同委員会で2回以降の日程・会場を調整する予定。

第2回	2001年	7月10日（火）	愛知大学名古屋図書館	
第3回		9月26日（水）	南山大学（名古屋）を予定	* 合同委員会
第4回		11月	愛知大学名古屋図書館	
第5回		12月		
第6回	2002年	2月	愛知大学豊橋図書館	* 合同委員会

3. 2001年度活動計画について

1) 前期委員会からの申し送り事項及び今期の重点項目について

前期委員会からの申し送り事項について委員長より説明があり、それをもとに協議を行った。その結果、以下のとおり今期委員会の重点項目とした。

- ・ 相互協力情報交換会の実施（2001年度秋開催予定）
- ・ 相互協力事業の推進
- ・ 東海地区協議会ホームページの充実
- ・ 「紀要・学内学会誌分担保存協定」の維持及び充実
- ・ 情報化委員会との連携

2) 「レファレンスコンソーシアムの有効性に関する実証実験」について

委員長より表記の実証実験について、総会で協議会加盟館に対し協力をお願いを行ったとの報告があった。次に加藤（愛工大）よりこの研究に関してこれまでの経緯や計画内容等の説明が行われ、今後さらに準備を進めた上で、次回委員会において改めて実験への協力をお願いしたいとの意向が伝えられた。

3) 「紀要・学内学会誌分担保存協定」について

蓑島委員より、協定への前年度新規参加館について報告があった。(総会報告済)

4. 2001年度情報交換会について

素案作成のためワーキンググループを設置することとなり、メンバーとして長坂委員長、小川委員、蓑島委員、酒井委員が選出された。

次回委員会で素案をもとに、テーマ・運営方法等について検討を行う予定。ワーキンググループの打ち合わせは6月下旬に予定。

5. その他

1) CANコンソーシアムについて

CANコンソーシアムの現状や新規事業案等について足立委員(愛知学院大学)、蓑島委員(中部大学)、加藤委員(南山大)より報告があった。

2) 相互協力委員会メーリングリストについて

相互協力委員メーリングリストを立ち上げることを決定。メーリングリスト運用のためのサーバーについて、委員長より日本福祉大学(前期委員会メーリングリストのサーバー設置)及び情報化委員会委員長に対し問い合わせを行うこととした。

3) 東海地区協議会ホームページについて

委員会内にホームページ担当をおくこととし、次回委員会で担当者を選出することとした。

15:40 より情報化委員会との合同委員会

< 2001年度第1回情報化委員会・相互協力委員会合同委員会 >

1. 2001年度合同委員会開催日程等について

両委員会委員の自己紹介を行った後、合同委員会の日程・会場について検討し、下記の通り決定した。

第1回	2001年	6月8日(金)	金城学院大学	
第2回	2001年	9月26日(水)	南山大学	
第3回	2002年	2月 未定	愛知大学豊橋図書館	< 最終週に開催予定 >

2. 相互協力委員会 2001年度事業計画報告

3. 情報化委員会 2001年度事業計画報告

4. 東海地区協議会ホームページについて

情報化委員会委員長よりレンタルサーバへの移行やアップロード等の計画について説明があり、その後ホームページ掲載データについて両委員会で協議が行われた。

ホームページのコンテンツの作成部分や内容については、情報化委員会と相互協力委員会で調整をとって進めていくこととなった。相互協力委員会が主として関わっていく部分については次回以降の委員会で検討していく事となった。また協議会トップページ、協議会関係、研究会関係、情報化委員会関係については、情報化委員会が主体的に関わっていきたいとのことであったのでこれを了承した。

今後、相互協力委員会のデータに関しては、長坂委員長に集約され、そこから情報化委員会HP担当・三浦委員に受け渡しが行われる予定。

以上